



課題研究(研究論文)の進め方

令和3年度がスタートしてから早3か月が経過し、子どもたちにとっては夏休みを間近に控えた時期となりました。各学校におかれましては、学校教育目標の達成に向け、日々の教育活動にご尽力されていることと推察いたします。

さて、本県では教職2年目研修、中堅教諭等資質向上研修において課題研究(個人研究)を求めています。また、本研究所には年9名の現職の教諭が研究員として入所し、実践研究を行い、その成果を報告書にまとめています。

私たちが書く論文は、教育研究論文です。授業における研究成果を自分の実践を通して検証していくことが目的となります。この取組を通して授業がうまくなり、子どもが喜ぶ授業ができるようになったら最高です。

1, 研究テーマをどう立てるか・・・研究テーマの選択の観点については、次の2つが考えられます。

① 各学校の実態

研究テーマを決定するときに、各教師が日々の授業の中で抱えている問題点を解消する手立てを考えることが必要です。

子どもたちは、教師の言ったことはするのだが、なかなか自分から考えて進んで活動することができない。教師が準備した「めあて」を基に教師主導で授業を展開しているため、子どもが受け身の授業になっている。そこで、子どもが自ら「問い」を立て、教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて問題を解決する、子どもが学びの主役となる授業に変える必要がある。だから、「『〇〇的に考える力を育成する』ことについて研究を進めたい」というように、日々の授業実践から生み出されるテーマが考えられます。

② 教育の動向

例えば、新学習指導要領では、従来から言われてきた「生きる力」について、それらを育む理念のさらなる具体化を目指して、学校教育で育てるべき資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に沿って明確化し整理している。新学習指導要領や答申等のポイントをおさえ、これからの学校に求められていることを把握したうえで、授業改善をどう図るか、求められている。

本校では、子どもの学びに次の問題がある。知識の伝達や暗記・再生に留まりがちになっている。「何ができるようになるか(資質・能力)」をねらい、達成する授業に変える必要がある。この問題解決のためには、「思考力・判断力・表現力等」をどのように育成するか研究を進めていく必要がある。したがって、「思考力・判断力・表現力等の育成」は、研究テーマとして取り上げることが可能である。

このように、授業から見えてくるテーマと、これからの教育の向かうべき方向から見えてくるテーマから、研究テーマが考えられます。

2, 指導力向上・授業改善を図るための自己課題の設定

① これまでの教育実践を振り返り、成果や問題(点)を洗い出します。

② 「問題(点)」を整理し、自己の課題(策)を明らかにします。

「問題(点)」とは、「目指す児童生徒の姿」と「現状」のギャップになります。

③ 「課題(策)」を明らかにします。

「問題(点)」の要因を分析し、「課題(策)」を明らかにします。

上記のギャップをいかにすれば埋められるかの答えが「課題(策)」です。

④ 「問題(点)」と「課題(策)」は違います

例えば、職員室で次のようなやりとりがあります。

(若い教師):「うちのクラス、授業態度がいまひとつなんです」(問題点)

(ベテラン教師):「授業の規律を確立(徹底)することだね」(課題策)

問題(点)に対して解決の方策や方法、手立てが課題(策)になります。

教師が努力をすれば、その分だけ子どもは育っていくと言われます。

常に研究心と向上心を持ち、目の前にいる子どもたちをどのように育てていきたいのか、そのためにはどういった手立てを行えばよいのか、いつも自分に問い続けていくことが何よりも大切です。

論文を書くことを通して、子どもと共に教師自身も「教育のプロ」として成長していきませんか。

例えば、ある5年生担任が算数の教育実践を振り返ってみました。

【目指す児童の姿】

「数学的な表現を活用し筋道を立てて考える児童」

「問題(点)」

- ① 問題把握、情報を選択することができていない。
- ② 問題解決の見通しを立てることができていない。
- ③ 問題や式、数学的な表現を解釈することができていない。
- ④ 論理的に考察することができていない。
- ⑤ 筋道を立てて説明することができていない。

「課題(策)」

- ① 「問題文の何に着目し、どのような既習事項が活用できるのか」に気づかせる工夫を図る必要がある。
- ② 「数学的な表現の必要性や役割」を実感させる工夫が必要である。

研修 7月 教育研究所事業予定

- 2日 (金) 中堅教諭等資質向上研修④
- 5日 (月) 標準学力調査結果説明会(中)
- 8日 (木) 初任者研修⑥
- 21日 (水) 中堅教諭等資質向上研修⑤
- 26日 (月) 情報教育研修会③電子黒板基本操作
- 27日 (火) 教職2年目研修②
- 29日 (木) 初任者研修⑦
- 30日 (金) 初任者研修⑧

※オンデマンド配信による研修になります。

標準学力調査結果の活用について

標準学力調査実施への御協力ありがとうございました。

6月下旬から、各学校へ結果資料が送付されております。標準学力調査結果説明会の動画を視聴すると共に、提供資料を有効に活用していただくようお願い申し上げます。

【動画配信期間:(小学校)6/30~7/6、(中学校)7/5~7/9】

当研究所では、本市の課題を分析し、9月に標準学力課題改善研修会を実施、リーフレットの作成・発送を行う予定です。

各学校においては、実施学年や実施教科のみだけでなく、全職員で結果を共有すると共に、分析をして指導改善に活かしてください。

